



# 大樹のこころ

## 命を守る

学校で最も大切なのが「子供の命を守る」ということです。災害や事故などから身を守るためにどのように行動すればよいのかを、学級の時間などを通して指導しています。その中で一番効果的なのは避難訓練です。本校では、この避難訓練をとっても大切にしています。

11日(火)には、地震と火災発生を想定した避難訓練を実施しました。緊急地震速報の訓練バージョンが校内に響き渡ると、子供たちは机の下に身を隠します。その後、火災が家庭科室で起きたと想定して、運動場への避難活動が始まりました。本校の子供たちは、自分の椅子に頭巾をかぶせ、いつでも使用できる状態にしてあります。その頭巾をかぶっての避難です。600名近くの子供たちが、誰一人声を出さずに避難する様子は圧巻です。入学したばかりの1年生も約束を守って行動できました。運動場に整列すると担任の先生による人数確認。そして人数の点呼報告となります。担任から学年主任、それから教頭先生、最後に校長へと報告がされます。この時の先生方の点呼報告が実に素晴らしい。きびきびと大きな声で報告を行っていきます。先生たちの様子を見て、子供たちも避難訓練の本気度を感じ取ったと思います。今年度、本校に赴任された先生が、この点呼報告の様子を見て「感動で涙が出そうでした」と言ってくれました。

13日(木)には6年生の子供たちが降下訓練に臨みました。南校舎の3階・4階から救助袋を使って避難する訓練です。本校の救助袋は垂直型。見た目には真っ直ぐ落ちるように感じますが、ゆっくり体が回転しながら下に降りるようになっており、危険はありません。より安全を確保するために、下では二人の教員が補助を行います。最初は怖がっていた6年生も、やってみると「楽しかった」という感想を述べる子がたくさんいました。救助袋を使っての降下訓練は、ここ数年コロナの関係で実施していませんでした。今回の訓練を行うことで、子供たちに経験



## 保護者の皆様へ

学校配信メールの登録をお願いします。本校は保護者宛の文書等をペーパーレスにし、メールでお知らせしています。また緊急時の連絡などでメールは有効なツールとなります。早めの登録をお願いします。

を積みせるとともに、事前に教員が降下を実施し救助袋の点検をすることもできました。これで、「もしもの時」があっても、迷いなく使用することができます。

昨年度、何度か緊急地震速報が流れました。その時に、本校の子供たちは退避行動を素早く行っていました。避難訓練の成果です。これからも充実した訓練を実施していきます。